



会津果樹情報 5月号

☆果樹の生育が早まっています☆

☆管理作業・病虫害防除は計画的に実施してください！☆



令和5年5月10日

福島県会津農林事務所 農業振興普及部
(TEL 0242-29-5307)

J A会津よつば あいづ西部営農経済センター

1 4月以降の気象概況

会津若松市の令和5年4月の平均気温は11.8℃(平年比+1.7℃)で、4月の平均気温としては高く推移しました。

東北地方の1か月予報(5/6~6/5)によれば、向こう1か月の気温は平年並み、降水量は平年並みかやや多い見込みです。

2 発育状況(5/8現在、会津若松市)

りんご「ふじ」の満開は4月23日で昨年より7日、平年より12日早く、もも「あかつき」の満開は4月11日で昨年より11日、平年より15日早く、おうとう「佐藤錦」の満開は4月12日で昨年より10日、平年より16日早くなりました。かき「会津身不柿」の展葉は4月12日で昨年より12日、平年より13日早くなりました。

表1 各樹種の発育状況(平年は1986~2022年の平均値)

樹種		りんご	もも	おうとう	かき
品種		ふじ	あかつき	佐藤錦	会津身不知
調査地点		北会津町	神指町	北会津町	門田町
発芽日	本年	3/24	3/21	3/23	4/2
	昨年	4/7	3/25	4/4	4/10
	平年	4/2	3/28	4/1	4/10
開花日	本年	4/19	4/5	4/6	未
	昨年	4/27	4/16	4/16	6/1
	平年	5/1	4/20	4/22	6/4
満開日	本年	4/23	4/11	4/12	未
	昨年	4/30	4/22	4/22	6/4
	平年	5/5	4/26	4/28	6/8

3 今後の栽培管理

(1) 凍霜害の事後対策(樹種共通)

ア 結実量の確保(摘果程度の調整)

凍霜害に遭遇した地域では、結実が確実であることを見極めてから摘果に入るようにしましょう。

(2) もも

ア 摘果

摘らいや摘花を実施しなかった場合や摘らい程度が弱く着果数が多い園地は、予備摘果を実施しましょう。なお、品種により着果量が少ない場合は、5月下旬以降、仕上げ摘果から作業を行ってください。

(3) りんご

ア 予備摘果

結実を確認（落花後7～10日の「ガク立ち」）できる時期になったら、1頂芽（1果そう）当たり1果にします。満開30日後までに実施してください。

なお、摘果剤の散布については、結実状況を十分に確認してから実施するようにしましょう。中心果による着果が困難な場合には**側果**に結実させ、側果の被害もひどい場合は**腋花芽**に着果させ、できるだけ樹勢のバランスを崩さないようにしましょう。

(4) かき

ア 摘花・摘果

摘らい・摘花は、5月中旬から実施しましょう。

イ 新梢管理

凍霜害で着果量が不足した場合、5月下旬以降から新梢が多く発生してきます。夏季管理で徒長枝や不要な新梢をせん除する場合は、一度にせん除せず、7～9月下旬にかけて3回程度に分けて実施します。

(5) ぶどう

ア 芽かき

5月中に行いましょう！

棚より低い位置の新梢は全てかき取ります。また、短梢せん定では生育の良い新梢を1芽座あたり1つずつ残し、それ以外の新梢はかき取ります。

イ 新梢管理

テープナーを使い、主枝延長枝は誘引線に沿ってまっすぐに誘引し、それ以外の新梢は棚線に誘引できるくらいに伸びたら、随時、主枝から垂直に誘引します。

ウ 巻きひげの除去

巻きひげ（図1）は巻きつくと誘引作業の妨げになるだけでなく、晩腐病の発生源になります。巻きつく前に誘引を行いながら除去しましょう。



図1 巻きひげ

エ 簡易雨よけの設置

簡易雨よけ栽培や施設栽培を導入してください（ぶどうに発生する病害の多くは降雨により伝染します！）。

4 各種病害虫対策

(1) 樹種共通

生育が早まっていますので、農薬による防除を遅れずに実施してください。防除のタイミングは生育ステージに合わせてください。

(2) りんご

ア リンゴハダニ

発生密度に注意し、1葉当たり雌成虫1頭以上に達したら殺ダニ剤を使用しましょう。

イ リンゴ黒星病

最重点防除時期は、展葉期から落花20日頃まで（今年は、4月上旬から5月中旬

頃まで)です。この期間の薬剤散布間隔が10日以上空きすぎないように注意し、散布ムラのないよう十分な量を散布しましょう。

ウ リンゴ褐斑病

本病原菌は主に罹病落葉で越冬し、翌年5～6月に子のう胞子が飛散します。落花直後と落花30日後に本病に効果のある薬剤を散布して初期の感染を抑えましょう。

(3) もも

ア モモせん孔細菌病

春型枝病斑の発生を見つけたら可能な限り基部まで切り戻すなど、徹底的にせん除しましょう。芽や新梢葉に生育不良が見られたら感染を疑い、病斑の有無を確認してください(図2)。



図2 モモせん孔細菌病の春型枝病斑

(4) かき

ア 落葉病

昨年、落葉病の発生が多かった場合は、開花直前の防除を遅れずに実施してください。また、梅雨期間の薬剤散布間隔が15日以上空かないように、天気予報を見て、晴れ間を狙って散布してください。

○近年、農業災害が多発しています。農業保険(農業共済・収入保険)に加入しましょう!

○春の農作業安全運動(令和5年3月1日～5月31日)実施中!

農繁期の4～5月は農作業事故が発生しやすい時期です。特にせん定時の落下防止に気をつけましょう!!

令和5年度春のテーマ

徹底しよう! 農業機械の転落・転倒対策



○会津若松市でクマの目撃が相次いでいます。朝夕、1人で園地に行かないようにしましょう!
